



高温期を回避したオーチャードグラスの刈取管理法

【1 成果の概要】

- (1) オーチャードグラスの採草地において、高温期を避け最終刈取後に施肥をする年4回刈り（夏避4）及び月1回刈り（多回）は、高温期を避けない年3回刈り（慣行）と比べて1番草乾物収量及び年間乾物収量が増加します（図1、表1）。
- (2) 夏避4及び多回は、最終刈取後のオーチャードグラスの冠部被度は維持され、永続性にも問題ありません（図2）。
- (3) 夏避4と多回のグラスサイレージ（GS）1kgあたりの費用は慣行と同等です（表2）。

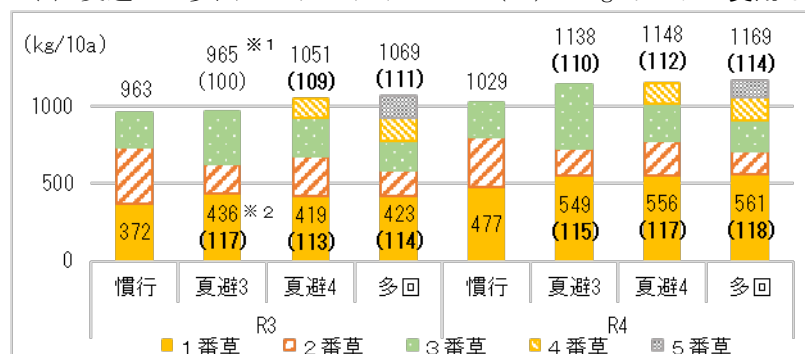


図1 番草毎の牧草乾物収量（オーチャードグラス）(kg/10a)

※1は年間乾物収量、※2は1番草乾物収量、()は年度毎の慣行区比(%)

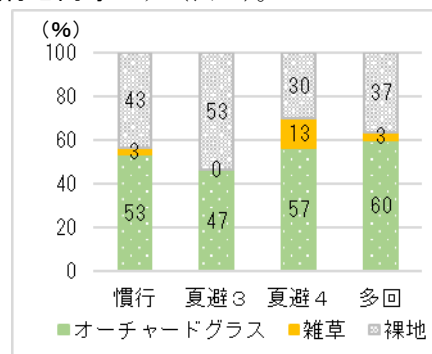


図2 最終刈取後（10月12日）の冠部被度(%)

表1 試験区及び栽培管理（上段 実施時期、下段 施肥量 窒素-リン酸-カリ kg/10a）

試験区	早春施肥	1番草	2番草	3番草	4番草	5番草	施肥合計
慣行		5月下旬 5-2.5-5	7月下旬 5-2.5-5	9月中下旬			20-10-20
夏避3	4月上旬 10-5-10	5月下旬 3-1.5-3	6月下旬 7-3.5-7	9月中下旬 (3-1.5-3)*1			20-10-20 (23-11.5-23)*2
夏避4		5月下旬 4-2-4	7月上旬 4-2-4	8月下旬 4-2-4	9月下旬 (3-1.5-3)*1		22-11-22 (25-12.5-25)*2
多回		5月下旬 3-1.5-3	6月下旬 3-1.5-3	7月下旬 3-1.5-3	8月下旬 3-1.5-3	9月下旬 (3-1.5-3)*1	22-11-22 (25-12.5-25)*2

※1の()内は最終刈取後の施肥量、同※2は最終刈取後の施肥含みの合計施肥量を示し、翌年度の牧草収量に影響

表2 グラスサイレージ（GS）1kgあたりの費用

試験区	諸材料費 計※	GS収量 (30%補正) (kg/10a)	GS 1kg あたりの 費用 (円)
慣行	32,307	3,430	9.4
夏避3	34,994	3,793	9.2
夏避4	38,176	3,827	10.0
多回	38,794	3,897	10.0

※ 燃料費+梱包資材費+肥料費（直近R3,4価格）



写真1：夏避4の最終番草
（9月26日）



写真2：葉枯れが目立つ夏避3
の最終番草（9月26日）

【2 留意事項】

- (1) 高温期を避ける長期間空ける刈取り管理（夏避3）は、病害による葉枯れや裸地が多くなります（図2、写真2）。
- (2) 適応地帯は県内全域です。

担当研究室 畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室

〒020-0605 滝沢市砂込 737-1

TEL. 019-688-7317

FAX. 019-688-4327